

# ◎彙報

## 第二〇回 原爆文学研究会

- 日時 二〇〇六年一月二六日(土) 午後二四時より
- 会場 九州大学六本松キャンパス大学院棟一〇一号室
- 研究発表

映画から学ぶ「ヒロシマ」の語り方

↳ 『二十四時間の情事』のテクスト分析

高野 吾朗

人間存在の不安——「収容所文学」と「原爆文学」

ウルシユラ・ステイチエツク

## 第二一回 原爆文学研究会

- 日時 二〇〇七年一月二〇日(土) 午後二四時より
- 会場 九州大学六本松キャンパス大学院棟一〇一号室
- 研究発表

青来有一『爆心』の位置

内田 友子

触媒としての身体——大田洋子「暴露の時間」論

中野 和典

## 第二二回 原爆文学研究会

- 日時 二〇〇七年七月二八日(土) 午後一四時より
- 会場 九州大学六本松キャンパス大学院棟一〇一号室
- 研究発表

告発と沈黙と——石原吉郎を中心に——

川口隆行

『黒い雨』の中のヒストリー

楠田剛士